



躍進 (やくしん) 誌

題字は帯解寺住職 倉本 堯 慧 師
くらもとぎょうけい

平成24年 第17号
編集発行

おぎたよしお後援会

〒630-8431 奈良市窪之庄町350

TEL0742(61)6300

九月議会で代表質問

新県立奈良病院について！

安全なアクセスの確保を

新県立奈良病院の建設にあたり知事は当初、近鉄富雄駅と近鉄郡山駅を利用駅とし、車では県道郡山枚方線を利用するルートを描かれていた。しかし、これまで県立奈良病院を利用されている奈良市民は、近鉄西ノ京駅から狭隘な道路を利用すると予想されるため、萩田議員は、今も危険な通学路として課題が



平成24年9月議会で代表質問する萩田議員

指摘されている現状も含め、地元・六条校区自治連合会とも協議しながら、安全なアクセスの確保を要請しました。

荒井知事は、近鉄西ノ京駅からのアクセスの重要性を認識し、歩行者や自転車利用者への安全を確保するため、奈良市及び地元と協議しながら、道路の幅員や形状等の物理的な課題、側溝等も利用した通行スペースを確保、交差点形状の改良について等、対策の説明に努めるとしました。

また、本道路は主に西の京高校の通学路として利用されているが、車の隙間を縫って歩くなど危険な状態であるため、住宅地を通学路に整備するよう要請しているとしました。



狭い通学路を車と行き交う生徒たち

医療機能と人材確保

平成十九年に起こった妊産婦の救急搬送事案を機に、県民が安心して医療機関に診てもらえる医療体制の構築を掲げ、今回の新県立奈良病院設置計画がスタートしました。

荒井知事は、救急医療・周産期・がん・精神・小児・糖尿・災害医療の七つを柱とする医療体制及びスペシャリストの育成と働きやすい職場づくりをめざし、これまで県立三病院の院長や職員による議論や先進的取り組みをしている聖路加国際病院・倉敷中央病院との意見交換、日本看護

協会との勉強会、医療の方向性や医療を中心としたまちづくりの観点から東京大学高齢社会研究機構の識者を招いた講演会の開催などを通じて作成した新病院の医療機能を中心発表しましたが、萩田議員は、新病院が大阪府立成人病センター級の施設と研究体制とした時、最高の医療スタッフをどのよう揃えるのか危惧しています。

新病院建設の概要について県庁内部だけで検討され、県立医大医局との綿密な相談が不足しているのではないかと指摘、県民の命を守る医師派遣に支障を来さない体制づくりを求めたと述べています。

開発による洪水を危惧！

新病院の建設予定地を開発することで、これまで地面にしみ込んでいた雨水が直接排水路に流れ出るため、台風や局地的豪雨などにより、付近の農業用水路を通じ雨水が大池に流入する過程で浸水や決壊を心配する萩田議員は、その対応策について知事の所見を質しました。

荒井知事は、新病院敷地内の雨水について現状の流域を変えずに排水する予定で、下流域での洪水の危険性を排除するため防災調整池を整備し、建設予定地に降った雨水は調整池で流出量を抑えながら排出するため、大池の浸水決壊の影響は生じないとしました。

◆おぎたよしお後援会◆ 平成23年度収支報告

| | |
|----------------|------------|
| ●収入 | |
| 前年度繰越金 | 137,906円 |
| 会費 | 7,061,000円 |
| 会議費 | 777,000円 |
| 後援会会員会議費 | 641,000円 |
| 後援会日帰りバスツアー会費 | 566,500円 |
| 雑収入 | 31,111円 |
| 収入合計 | 9,214,517円 |
| ●支出 | |
| (1) 事務所費 | 3,864,249円 |
| 内訳 | |
| 事務費 | 914,771円 |
| 人件費 | 2,250,000円 |
| 備品・消耗品費 | 672,840円 |
| 光熱費 | 26,638円 |
| (2) 政治活動費 | 4,598,511円 |
| 内訳 | |
| 会議費 | 766,640円 |
| 後援会会議費 | 660,407円 |
| 後援会日帰りバスツアー会費 | 670,251円 |
| 渉外費 | 1,238,060円 |
| 交際費 | 1,193,153円 |
| 組織対策費 | 70,000円 |
| (3) 機関紙発行その他費用 | 622,160円 |
| 内訳 | |
| 躍進印刷代他 | 327,575円 |
| 通信費 | 294,585円 |
| 24年度繰越金 | 129,597円 |
| 支出合計 | 9,214,517円 |



萩田義雄後援会長

辻澤 靖彦

後援会各位におかれましては、益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。この度、奈良県議会議員萩田義雄後援会会長の重責を担うことになりました。皆様のご指導、ご協力を賜り、この職責を全うする所存です。

萩田議員は昨年の選挙で四選を果たし、自民党では奈良県連の総務会長を、党奈良県第二選挙区支部でも幹事長を務めるなど、今まさに円熟の時を迎えておられます。県政全般に関わる諸問題のみならず、地域の皆様から要望される身近な問題にも取り組んでおられる萩田議員が、より一層、活躍されますよう今後とも宜しくご支援賜りますようお願い申し上げます。



奈良県議会議員

萩田 義雄

日頃より、私の活動をご支援いただき感謝申し上げます。自由民主党が政権から下野して三年が経ちました。先の総選挙で民主党は、国民に約束した政権公約を果たすことが出来ず、国民不在のまま政権を運営しています。決める政治どころか、決められない、先延ばしする政治状況のなか、内政・外交の諸問題はまったなしであり、今こそ、自民党が皆様から期待される政党として生まれ代わり、国民の立場で財政、外交、防衛、社会保障、教育等の政策を進め、県政においても行財政改革の断行、医療・福祉・教育政策の実現、河川及び道路整備、南部地域の復興に取り組んでまいります。

県政発展と安全・安心で暮らせる暮らし！

未曾有の大災害や原発事故からの復興、周辺諸国との領土主権をめぐる紛争、いまだ出口の見えない不況など、わが国のおかれている状況が依然として厳しいなか、奈良県の将来を見据えながら、県民の皆さんが安全に安心して暮らせる奈良県づくりについて質問しました。

県財政とシャープの事業再構築

奈良県の税収構造は、一人あたりの個人県民税が全国十位にもかかわらず、法人関係税は残念ながら最下位です。荒井知事は就任以来、税収のアキレス腱とも言える法人関係税の増収を図るため、企業立地に取り組んでいます。就任から五年を経て一二二件の



事業が縮小されるシャープ葛城事業所

討しているのか、知事の所見を伺いました。

荒井知事は、企業立地による税収効果について、平成十九年からの五年間で納付された法人県民税及び事業税は、約七十億六千万円で法人税収の六・八%を占め、新規雇用も一〇九〇名を実現し、今年度創業の十社で二五〇名の雇用が予定されているとしました。

ことから萩田議員は大きな影響があるのではと危惧しています。県としてどのような対応策を情報収集するのでしょうか。

災害に強い道路整備を求めろ！

萩田議員は、昨年九月の紀伊半島大水害で大きな被害を受けた十津川村の更谷村長とお会いし、あらためて災害大きさを認識しました。堆積した土砂の撤去や三割も減少

した観光の復興など多くの課題が残っていますが、とりわけ重要なことは、紀伊半島の大動脈となっている国道一六八号・一六九号の高規格道路化だと考え、五条―新宮間の百三十キロについては、国直轄事業として整備すべきと要請しました。



スレ違いのままならない国道168号線

これに対して荒井知事は、今回の災害で南部地域の道路が、大きな被害を受けたなかでも高規格で整備された区間での被害が比較的少なく、緊急及び復旧車両の

通行に役だった経緯から災害に強い道路の必要性を認識し、また、八月に国から南海地震による被害想定が公表されたことから、紀伊半島沿岸部から内陸部への重要な連絡ルートとして、紀伊半島アンカールートの早期整備が急務であることを認識し、様々な場面で国に要請しているところで、当面、国道一六八号が長殿道路が直轄権限代行として新規事業化され、一六九号新伯母峯トンネルで国による調査が実施されています。

再生可能エネルギーについて！

未利用地の活用を！

福島第一原子力発電所の事故を機に脱原発の世論が加速されるなか、再生可能エネルギーへの関心が高まっています。経済産業省は、二〇三〇年に原発をゼロにする場合のシナリオを公表していますが、それによると全体の三五%にあたる三千五百億キロワットアワーもの電力を再生可能エネルギーで賄う必要があります。これまで電力は供給され

地域資源の有効活用を！

奈良県には耕作放棄地が三千五百㌫あります。その他にもため池や農業用水、森林資源など多くの地域資源が利用されないままの状態です。

家庭用太陽光発電の普及

奈良県は、今年度、家庭用太陽光発電設備の普及促進に一件あたり十万円、募集件数千件の補助制度を設けました。募集開始から十三日で千件を超えてしまいました。県民の関心の高さは予想を超えていると感じた萩田議員は、補助制度の拡充を求めたところ、機運の高まりを認識し予算の充実を含め、募集期間の分散化、執行方法の工夫をしながら、多くの方々に支援できるようにしたいとしました。

山梨県米倉山太陽光発電所を視察

萩田議員は、メガソーラーを始め自然再生エネルギーの活用が盛んな山梨県を訪れ、米倉山太陽光発電所を視察しました。同発電所は、未利用県有地12.5㌫に8万枚の太陽光パネルを設置、年間の発電量は一般家庭3400軒分1200万キロワットの電力を生み出します。(平成24年9月6日)



観光振興に「いっしょに！」

ホテル誘致活動の現状！

荒井知事は就任以来、奈良県の観光振興にはホテルの誘致が必要として、県営プール跡地及び奈良警察署用地へ積極的な誘致活動を展開してきました。

しかし、世界的な経済不況による外国人観光客の減少、尖閣諸島や竹島問題など周辺諸国との紛争による影響もあり、現時点でのホテル誘致に見通しが立っていないと考えられる萩田議員は、時代の趨勢や誘致予定地が適正かどうかも含め知事の所見を質しました。

荒井知事は、自らもセール

ス活動をするなかで、ホテル関係者が奈良県を立地の研究対象として見ていないことに気づき●天平時代をテーマにした賑わいの空間づくり●大宮通で統一感のある景観創出●幅広い層の来訪者が楽しめる夜の健全な魅力づくり●天

平時代を体感しながらくつろげる魅力的な場づくりを進め、当該地の魅力を最大限に生かし、ホテル経営の有望性を明確にしたいとしました。

奈良公園の観光特区化！

奈良公園及び周辺地域を大切な観光資源と考える萩田議員は、知事が主導する「奈良



ホテル誘致が進まない中、放置されたままの県営プール跡地



県庁東側の登大路駐車場

公園観光地域活性化特区」構想を評価した上で、当該寺社や関係機関との協議、登大路駐車場のターミナル整備に際し、奈良らしく心のおもてなしの出来る場として整備することを求めました。

荒井知事は、奈良公園特区構想を進めるには地方公共団体と民間事業者が協議会を設けなければならないため、春日大社、興福寺、東大寺や民間事業者と地域協議会を構成し協議を重ねた結果、全会一致で「奈良公園観光地域活性化特区」を申請したことを明らかにしました。

登大路観光駐車場の活用について、観光バスや奈良公園ぐるっとバス、奈良観光周遊バス、パーク・アンド・バスライドシャトルバスの乗降場としてターミナル化を検討しているとし、観光客が快適に利用できるよう、観光案内所やショップ、眺望のよい待合の設置も含め、平成二十六年度末に供用するとなりました。

正倉院の復元展示会を！

毎年秋に開催の正倉院展には、期間中に全国から二十四万人ものファンが訪れます。正倉院事務所では宝物のレプリカを所蔵していることから、萩田議員は同事務所の理解を得ながら、奈良県の記念事業などの際、県立美術館で展示

救急搬送に「いっしょに！」

搬送時間の短縮を！

県民の命にかかわる救急搬送は、搬送時間が短いほど処置しやすいのは自明の理です。ところが、県の努力にもかかわらず救急車に乗せ病状により近くの二次、三次病院との交渉で時間をロスしている現状が明らかになっています。

医師不足も原因の「？」

萩田議員は、自身の経験からも夜間や土・日、祭日に「違う病院に行っていた方がいい」と言われるケースが多いとして、医師不足も搬送時間短縮を実現できない要因の一つではと指摘しました。

これに対して荒井知事は、救急搬送の対象が重症患者及び命にかかわる重症患者にもかかわらず、軽症患者が救急により二次、三次病院に殺到しているとして電話相談窓口を設置し二十四時間体制で対応するとともに、一次救急を担う休日夜間応急診療所の充実、二次、三次救急病院で働く医師の養成へ、全国で最も充実した奨学金制度を設け、まもなくこれらの奨学生が配置されることで医師の安定確保ができるようになりました。

萩井知事は搬送時間の短縮が実現されていないことを認め、疾病者情報をiPadを活用し、消防と病院で共有する制度の導入や午後五時に実施している病院の受け入れ可否情報をリアルタイムに救急隊へ提供できないか、大和郡山市で機能している地元

農業の振興に「いっしょに！」

地球温暖化や気候変動により農作物の収益に著しい影響が出ています。奈良県も例外ではなく、県内の総農家数は二万八千五百六十三戸ですが、主要農家となると約二千戸に過ぎません。

この厳しい状況下、全国各地で取り組まれている米づくりのブランド化にどのように対応しているのか。産地間競争が激しくなっている農産物の品種改良とブランド化への取り組み。価格低迷、資材コストの高止まり、担い手の高齢化など厳しい環境のもとでの農家経営について農林部長の所見を質しました。

富岡農林部長は、奈良県の気象条件に合ったヒノヒカリを主力として高品質な米生産を主力として高品質な米生産

リニア中間駅設置に「いっしょに！」

と表明した上で、リニア中央新幹線をテーマに市町村サミットを開催し、会議には首長のみならず、国會議員、県會議員、市町村議會議長にも出席願い意見交換をしたところで、今後は客観的なデータの積み重ね、県下各市町村長の意見もいただき、広く県民のコンセンサスを得ながら、奈良県としてリニア奈良駅の候補地を決定して行きたいと答弁しました。

荒井知事は、奈良駅の建設費は全額JR東海が負担する



秋の実りが訪れる大和平野

写真で見る萩田議員の活動ぶり!



■三条通サマーフェスティバル
三条通ショッピングモール「帯で開かれたサマーフェスティバル」に顧問として参加しました。シカの白ちゃんも登場。
(平成24年8月25日)



■今夏の節電対策で県議会議員全員協議会
節電対策で計画停電時の対応を協議し、萩田議員は、関西電力に対しメールやFAXを利用できない高齢者対策を要望し、専門部隊で対応するとの回答を得ました。
(平成24年6月28日)

■天理市で開催された奈良県防災総合訓練
マグニチュード7.5の地震が起きたとの想定で行われた訓練には萩田議員を始め、関係団体及び陸上自衛隊も参加しました。
(平成24年9月1日)



■グリーンロード(奈良東部区域広域農道)事業
奈良市別所町を通るグリーンロード事業で、地元から排水及び河川改修の要望があり、関係機関の担当者と現地立ち会いに臨む萩田議員。
(平成24年8月10日)

■自民党奈良県第一選挙区支部時局講演会
谷垣総裁(当時)を迎えて開催された時局講演会には約900人が参加。萩田議員も支部幹事長として司会を務める。
(平成24年5月19日)
小林しげき自由民主党奈良県第一選挙区支部長を奈良1区の衆議院議員候補者として紹介。



■帯解地区万青年クラブゴルフ大会
帯解小学校で開催された同大会で挨拶させました。参加者の力強さに驚く。
(平成24年5月19日)



■第66回奈良市市民体育大会春季大会
奈良市フェンシング協会の会長を務める萩田議員は、県立朱雀高校で開催のフェンシング種目で激励。
(平成24年5月13日)



■衆議院議員石破茂氏の会合
大阪で開催された石破茂代議士(現幹事長)の会合に後援会役員の皆さんと出席。
(平成24年9月17日)



■帯解地区・大安寺地区敬老会
奈良県には百歳以上の方が六・七名おられます。挨拶に立った萩田議員は「これからもお元気な地域のために頑張ってください」と挨拶。
上 帯解地区敬老会(平成24年9月14日)
下 大安寺地区敬老会(平成24年9月15日)



■平成24年度奈良県林野防火消防訓練
若草山で開催の奈良県林野防火消防訓練に臨む。滋賀県からも防災ヘリが参加し関西広域連携での対応が可能と実感。
(平成24年6月7日)



■2012少林寺拳法奈良県大会
奈良市中央体育館で「心・絆」をテーマに開催の少林寺拳法奈良県大会に参加。
(平成24年7月8日)



■奈良県高校生議会
高校生が県の諸施策について質問する初の「高校生議会」が開会され、萩田議員が座長の意見交換会で活発な意見が出されました。
(平成24年8月21日)



■菅原町秋祭り
奈良市菅原町の菅友会主催の秋祭りに参加。地元の皆さんと神輿を担ぐ萩田議員。
(平成24年10月7日)

おぎたよしお略歴

- ・昭和22年12月7日生 64歳
- ・奈良県立奈良商工高等学校卒業
- ・昭和58年、奈良市議会議員に当選(3期)
この間、総務財政委員長、議会運営委員長、副議長等を歴任。
- ・平成7年、奈良県議会議員に初当選。
以来、厚生常任副委員長、幹線交通対策特別副委員長、総務・警察委員長、議会運営委員長等を歴任。
- ・平成22年、自民党奈良県連 総務会長に就任。
- ・平成23年、奈良県議会議員に4選。

告知板

「ミニ集会」開催のお願い
萩田義雄さんを招いてミニ集会を開いてみませんか。何人からでも参ります。
☎074-216-16300

おぎたよしお後援会 メール会員募集中!

ホームページでご入会いただいた皆様には、ご指定のメールアドレスに身近な話題を中心にメールマガジンを月1回程度送らせていただきます。既に後援会にご入会いただいている会員様もぜひメールアドレスをご登録ください。

おぎたよしお公式ホームページ <http://www.ogita-yoshio.com/> 携帯電話はこちらから